

1月18日(水) 本年度第25回(通算2617回)12時30分～ 釧路プリンスホテル  
『年男大いに語る』 担当/プログラム委員会

☆お客様と来訪ロータリアン

☆メイクアップ

12月16日	菊池美恵子君	(釧路北RAC)
1月7日	能登信孝君、田中和紀君、森山義文君、中嶋嘉昭君、萩原昭博君、石井東洋彦君、大友淳君、高橋貢君	(釧路北RAC)

☆出席報告【会員総数65名 免除11名 出席計算に用いた会員数65名】  
本日の出席者 39名 本日の出席率 60%

☆ニコニコ献金 (今年度累計 454,000円)

- ・新入会員宜しくお祝いします
  - ・今朝、孫が生まれましたから、じいちゃんと呼んで下さい
  - ・田野竜之介君の入会を記念して
  - ・本日の例会宜しくお祝いします
  - ・今年も宜しくお祝いします
  - ・お久しぶりです。年男で来ました
- 能登信孝君  
田中和紀君  
小松亮次君  
新妻繁市君  
大友 淳君、笠井龍司君  
泰地浩幸君

☆会長挨拶  
《能登会長》



皆さん今晚は、新年明けましておめでとうございます。会員の皆様にはご家庭皆さんこんにちは、ここ数日釧路地方郊外では気温が-20°以下の寒い日が続いております。今年もまたインフルエンザの流行が報じられておりますので皆さんには健康に気をつけていただきたいと思いますとおもいます。

今日は、新しく3名の会員を迎えることになりました。上期には退会者もあり下期は65名のスタートとなります。田野会員、中村会員、日比会員入会おめでとうございます、クラブの仲間として今後の活躍を期待しております。

今月はロータリー理解推進月間になっております。ロータリーに対して更に深く理解をして頂く特別月間であり、今月26日にロータリー研修委員会の「朝粥塾」が足立パストガバナーを講師に迎えて行われますので、多数の会員の出席をお願いします。

今日のプログラム「年男大いに語る」となっております。今年、年男なられた皆さんに新年の抱負を語って頂きますのでよろしくお願ひいたします。

☆幹事報告  
《田中幹事》



- ①. 退会者の御報告をさせていただきます。  
齊藤邦彦君・石塚茂樹君・三原克也君以上、3名の方が12月31日をもって非常に残念ではありますが、退会となっております。
- ②. 1月26日(木)朝がゆ塾を開講させていただきます。午前7時よりプリンスホテルにて、足立パストガバナーより『ロータリーの動向と釧路北RACの活動のあり方』というテーマで講演を頂きます。締め切りは今週20日までとなっておりますので、ご参加宜しくお願ひ致します。
- ③. 稚内南RC、創立40周年記念式典及び祝賀会の案内が届いております。
- ④. 増田ガバナーより『タイ洪水被害』と『東日本大震災』への義援金についての報告と、御礼が届いております。
- ⑤. 日本ロータリー親睦ゴルフ大会とロータリー国際囲碁大会の案内が届きます。
- ⑥. 2012年1月のロータリーレートは1ドル78円です。
- ⑦. 各RCより例会案内、ロータリアン12月号、ロータリーの友1月号が届きます。



## 高橋邦弘君

1940年9月1日生まれ



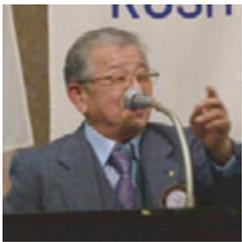
私は勉強が余り得意ではなかったもので、技術の道に進みました。当時、職人と呼ばれる者は、「年に三言、話しをすればいい」と言われている時代でした。私も開業してから長い間、お客様との会話には本当に苦労しました。

そんな時にクラブに入会させていただきました。しかし、当時のクラブ会員は私の普段の生活では話す機会の無い、業界のトップの方々ばかりで、例会で時々その方々と同じテーブルになった時は、緊張のあまり食事が喉を通らない事が度々ありました。例会の緊張感と、周りの方と話しをするのが苦手な私は、例会への出席自体が苦痛になり、何度か退会を考えましたが、私の信条が「嫌なこと、出来ない事がら逃げない」ですので、退会を思い止めました。

私は、クラブ在籍約30年になりますが、今でも国際ロータリーの事は余り理解出来ていません。しかし、クラブ会員との交流を通じて多くの事を学びました。信頼と友情を深めて、社会人として成長させていただきました。今回入会された新入会員の皆様も、ロータリーから何かを与えてもらう事を期待するのではなく、自ら積極的にクラブ活動に参加してください。その活動、行動から信頼感と友情が生まれ、強い絆で結ばれます。私は今年72歳になりました。この後も最後まで気力で頑張っていきたいと思えます。

## 田村憲一郎君

1940年1月1日生まれ



私は1940昭和15年の辰年生まれですので、今年72歳の年男を迎えました。ロータリーに会してから3度目の年男を経験しておりまして、この歳まで27年間、良くぞ100%出席で頑張ってきたものと、吾ながら自分を褒めてやりたい気持ちでいっぱいでございます。ここまで来られた以上、後12年間、次の辰年の84歳を目標にしたいと決意を新たにしておます。皆様の足手まといにならぬよう日々精進しますので、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

辰年は「昇り竜」と言われて十二支の中でも一番縁起が良い年と言われます。昨年は、春先から大変なアクシデントが日本を襲ったわけですが、今年は不幸を乗り越えて幸運に向けて飛躍する年度となりますよう、併せてクラブ会員皆様のご健勝を心から祈念し、年男のスピーチとさせていただきます。

## 森山義文君

1952年11月16日生まれ



年男は日本の風習の一つで一部の旧家などで見られるのみで現在ではほとんど見られなくなっています。正月を中心とした家族行事の主役を務める男性をさします、特に正月に限っては、一家の行事すべてを年男が取り仕切り行い、正月が近づいた暮れの大掃除をはじめ、正月の飾りつけ、元旦の水汲み、年神の供物をととのえたり、おせち料理の準備など一切を取り仕切りました。かつて、年男は室町幕府や江戸幕府では、古い儀式に通じた者が任じられていましたが、一般の家では、主として家の家長がその任にあたり、次第に長子や奉公人、若い男性が当たるようになったということだそうです。

辰年の人の風貌はちょっと見には荒々しくて怖い感じに見受けられるかもしれませんが、しかし案外気弱な面もありますし、小さいことでよくよしているようなところもあります。いわば心の中はデリケートで傷つきやすい面も持ち合わせている人なのです～ですから一生を通じて浮き沈みの激しい運気に左右されているのです。辰年に支配星は土星だそうです。

辰年で11月生まれ

心の中に強い自我を有しており目標を決めたらひたすらに一生懸命頑張る人です。



### 石井東洋彦君

1940年8月4日生まれ

1940年・昭和15年生まれの辰年「年男」ということで、今回スピーチの機会をいただいたのだが、困ったことに何を話したら良いのか、全く思いつかなかった。一回り下、二回り下の人達もいるわけで、こういう若い人達であれば、希望に満ちた将来像とか、今年こそ、といった意欲溢れる話になるのだろうが、6回も年男をやって、介護保険被保険者証はもらっている、もう

すぐ後期高齢者医療保険の対象者ですよ、と言われているような先が見えている人間にとっては、「大いに語る」ことが無い、年男だからどうだってことが何も思い浮かばない、ということだけがわかった。幹事だとかプログラム委員長の時に「何でもいいから話をして」と無理やりスピーチを引き受けていただいた、特にお年を召した会員の皆さんには、ここで深くお詫び申し上げます。

一回り前の2000年、平成12年にはまだ入会していなかったので、年男について語る機会というのは今回が初めてなのだが、12年前は「年男」というより「市役所生活最後の年」という思いが強かったのと、還暦だからと何回も飲み会があったような気がする。

同じトシで年男を迎えたのは田村憲一郎さんと高橋邦弘さんなのだが、いずれもクラブでは大先輩。改めて会員名簿を見てみたら、入会順では僕はまだまだ中間より後なのだが、年齢順でいったら、なんと10本の指に入ることがわかった。僕にとっては「年男」＝「トシをとった男」であることを考える良い機会にしたい。

「年男」の運勢は、吉であるとする説と凶であるとする説があるそうです。27年組の「年男」である森山会長エレクトが引っ張る森山年度は、きっと昇り龍の勢いのある年度になることと思う。そして一方、15年生まれの人組にとって凶の年ではないことを願って終わらせていただく。



### 泰地浩幸君

1964年12月23日生まれ

新妻さんからスピーチを頼まれ、年男なんだと思いだしました。振り返ると、それぞれの年には何をしていたかな？ 只々過ぎたようにも思えてきます。12歳の頃は病弱で運動禁止となっており、欠席が多く留年の危機でしたが、突然病気が減り中学へ進学出来、運動も解禁となりました。それからはラグビー、喧嘩、酒、たばこ、警察やヤクザとの追いかっこなどしておりました。追いかっこは20歳ぐらいまでです。顔写真と名前が載りますので。

24歳の頃は結婚1年目でしたが自分の可能性を確かめたく釧路を離れ、家庭電器販売、建築機械メーカー、建設機械リース、ディスカウントと経験いたし、仕入から経理、営業、店舗管理、人事と経験させていただきました。現金を持ってバイヤーとの駆け引きをし仕入商品がヒットした時は結構楽しかったです。横須賀の会社で店舗を任してくれた社長さんには感謝しています。その時の経験が今の会社に生かさせております。

36歳の頃は釧路へ戻りましたが学生時代の友人も疎遠となっており、J C等の異業種の会へ参加いたしました。沢山の友人知人を作ることができ、経営に関する勉強もさせていただきました。また、民事再生も経験させていただき、どんな困難なことがあっても友人や社員、沢山の方から助けてくれたことに感謝いたしました。会社も立て直し社長となり、お世話になった皆様へ恩返しをさせていただいているところです。

48歳になり次の年男までには人として男として更なる向上していきたいと思っております。

## 東海林 均君

1964年4月14日生まれ



4回目の年男になりました。今まで年男になっても別に実感はありませんでした。このロータリークラブに入会して「年男大いに語る」と言うタイトルに入会当初からびびっていました。先輩を前にして何を話そうかなど色々考えましたが、結局、自分の生まれた年は何があったか調べてみました。

1964年の有名なイベントは東京オリンピックですが、それ以外を調べてみました。

6月に新潟地震がありました。被害は新潟県、山形県、秋田県等日本海側を中心として9県に及びました。マグニチュード(M)7.5、新潟市は最大4Mの津波を観測したそうです。激しい被害で、海外のメディアも「日本の北西部で大地震が起きる」と伝えるほどの地震ではありましたが、死者がわずか26名だったことから「奇跡」と評されたこともあったそうです。

10月は池田勇人首相が東京オリンピック閉会式の翌日に辞意表明をしました。なぜ辞意表明をしたのか気になり調べてみました。9月9日、国立がんセンターへ喉頭癌の治療のため入院をしました。そして、すでに癌は相当進行していたといわれております。病名は本人に告知されることなく「前がん症状」と伝えられたそうです。東京オリンピック閉会式の翌日の10月25日に退陣を表明し、11月9日に後継総裁として佐藤栄作を指名したそうです。

また、流行語の一つに「かぎっ子」があったそうです。私の両親は共働きのためよく周りから言われていたことを思い出しました。まさか自分の生まれた年の流行語だなんて思ってもみませんでした。ネットで探していると沢山、出てきましたが、きりがないので、これくらいで終わりにします。

### ★新入会員★

#### ようこそ釧路北ロータリークラブへ



日比龍雄君(ひび たつお)  
釧路プリンスホテル 支配人  
所属委員会/出席管理委員会



中村祐昭君(なかむら ひろあき)  
ブラッセリー中なか 代表  
所属委員会/親睦家族委員会



田野竜之介君(たの りゅうのすけ)  
(有)たの塗装工業 専務取締役  
所属委員会/親睦家族委員会